

# エコアクション21

## 環境経営レポート2025

対象期間 : R6/7~R7/6  
発行 : R7/9/1



『小笠山工業団地開発事業（第4期目）』



小笠山工業団地  
開発事業HP  
小笠山工業団地  
開発事業HP



塚本建設株式会社

T 4 3 7 - 0 0 5 6

静岡県袋井市小山288番地

電話 0538-43-3851

FAX 0538-43-5247

# 目 次

1. 組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等） .....	P3
2. 対象範囲（認証・登録範囲） .....	P5
3. 環境経営方針 .....	P6
4. 環境経営目標 .....	P7
5. 環境経営活動計画 .....	P8
6. 環境経営目標の実績 .....	P9
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 .....	P10
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 .....	P13
9. 代表者による全体の評価と見直し結果 .....	P15
10. その他（社会貢献活動等取組） .....	P16

# 1. 組織の概要



- 1) 事業所名 塚本建設株式会社
- 2) 代表者名 社長 塚本 法樹
- 3) 所在地 本社) 〒437-0056  
静岡県袋井市小山288番地  
小笠営業所) 〒439-0006  
静岡県菊川市堀之内164番地
- 4) 環境管理責任者 森下謙三  
soumu@tsukamotokensetsu.com
- 5) 連絡先 0538-43-3851
- 6) 主たる事業内容 土木、建築工事業・設計業務・不動産業務

● 建設業許可

許可番号：静岡県知事許可 第4635号  
 許可の有効期限：令和5年2月19日から令和10年2月18日まで  
 建設業の種類：土木、建築、大工、左官、とび・土工、石、屋根、タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、  
 鉄筋、舗装、しほり、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、建具、水道施設、解体

● 一級建築士事務所

登録番号：静岡県知事登録 第2371号  
 登録有効期限：令和5年3月1日～令和10年2月29日

● 優良産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号：静岡県知事許可 第02201051746号  
 許可の有効期限：令和5年12月8日から令和12年12月7日まで  
 産廃廃棄物の種類：廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、  
 がれき類、木くず

● 宅地建物取引業者免許証

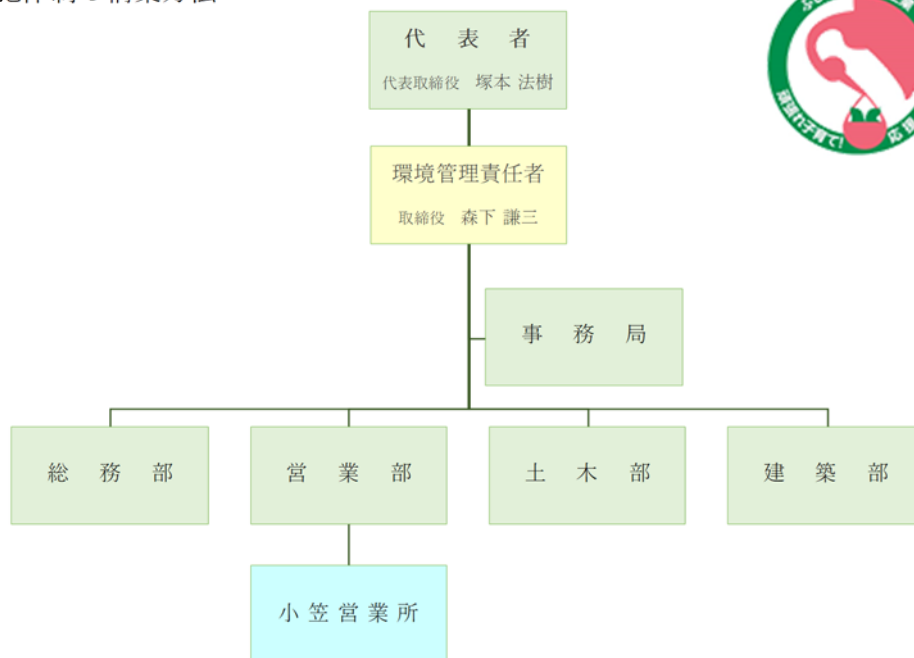
許可番号：静岡県知事許可 第12412号  
 有効期限：令和2年3月16日から令和7年3月15日まで

- 7) 事業規模等 資本金 3,000万円  
 設立年月日 昭和42年7月4日  
 決算 年1回(6月)

項目	令和5年度 56期 (R5.06.30)	令和6年度 57期 (R6.06.30)	令和7年度 58期 (R7.06.30)
売上高 (千円)	2,677,415	2,527,235	3,626,799
従業員数 (人)	34	35	40
工事完工件数 (内 進行基準)	498 (23)	439 (27)	511 (22)
一般車両台数 (内 H V) (内 軽自動車)	31 (5) (19)	32 (5) (20)	33 (5) (20)
工事用車両台数 (台)	3	3	3
建設用機械 (重機)	3	3	3

8) 環境管理組織図及び役割・責任・権限表

- ① 対象サイト（場所、敷地）と活動（組織、範囲）を決定。  
 本社事務所・小笠営業所 その他生産活動拠点（資材置き場／倉庫／作業現場）  
 （ 以上の営業活動を行うために保有・提供された敷地 ）
- ② 実施体制の構築方法



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・効果的で十分な実施体制の構築、全従業員へ周知</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、管理、実施</li> <li>・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営の実施状況の確認及び達成状況の評価、見直し</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境経営計画の実績集計</li> <li>・環境関連法規制等取りまとめ表の作成</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開</li> </ul>
各部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の運用管理</li> <li>・自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 2. 対象範囲

### 1. 認証・登録範囲（全組織、全活動を対象にする）

IPSuS

ea  
環境省  
エコアクション21

認証・登録証

認証・登録番号 0002356

認証・登録事業者 塚本建設株式会社  
静岡県袋井市小山 288 番地

事業活動 建設物の設計・施工、土木工事

対象事業所 本社、小笠営業所

認証・登録日 2008年4月7日

更新・登録日 2024年4月7日

有効期限 2026年4月6日

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2017年版」(環境省)の  
要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構  
理事長 森本英香

COPY COPY COPY

### 2. レポートの対象期間及び発行日

当レポートの表紙に掲載

### 3. 環境経営方針

#### 1) 基本方針

当社の事業活動が環境に与える影響を常に認識し、環境負荷の低減に努めることにより、人と自然が美しく調和する豊かな環境作りに全力を尽くす。

#### 2) 行動指針

- ① 我々は建設業の活動を通して、環境に配慮した施工（グリーン調達推進、環境配慮への取組を含む）と環境の改善に貢献するため、環境経営システムを構築し積極的に取り組む。
- ② 環境への具体的な取組として、特に次の事項を推進する。
  - a・継続的な環境負荷の低減
  - b・廃棄物の削減と適正処理・リサイクル
  - c・購買電力・化石燃料の削減などの省エネルギー
- ③ 環境に関する法規制等を明確にし、遵守する。
- ④ この方針は様々な機会を通じて全ての従業員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努める。

制定 平成19年 5月 1日  
改定 平成30年 9月 1日



## 4. 環境経営目標

令和3年度実績を基準に中期目標を設定した。

環境経営目標項目	単位	基準値	目標値			
		令和3年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		[R2.07.01-R03.06.30]	[R4.07.01-R05.06.30]	[R5.07.01-R06.06.30]	[R6.07.01-R07.06.30]	
共通	グリーン調達	-	-	グリーン調達に配慮する		
	環境配慮	-	-	環境に配慮した工事に努める		
	車両平均燃費	km/L	17.01	燃料の向上に努める		
	会社周辺の清掃	回	12	12		
管	CO <sub>2</sub> 削減(全体)	kg-CO <sub>2</sub>	143,385	▲2%	▲3%	▲4%
	管理系	kg-CO <sub>2</sub>	32,504	▲2%	▲3%	▲4%
	工務系	kg-CO <sub>2</sub>	110,881	▲2%	▲3%	▲4%
理系	電気の使用量 本社/小笠営業所	kWh	41,706	▲2%	▲3%	▲4%
	車両燃料 (ガソリン)	L	5,525	▲2%	▲3%	▲4%
	一般廃棄物の削減 (リサイクル分)	%	73%	70%以上		
	一般廃棄物の削減 (中間処理及び最終処分)	kg	605	▲2%	▲3%	▲4%
工務系	電気の使用量 工事作業所/倉庫	kWh	56,539	▲2%	▲3%	▲4%
	車両・機械 (ガソリン)	L	12,699	▲2%	▲3%	▲4%
	重機・ダンプ・機械 (軽油)	L	21,073	▲2%	▲3%	▲4%
	建設器具・暖房機器 (灯油)	L	146	▲2%	▲3%	▲4%
	産業廃棄物の削減 (再資源化率)	%	98.5%	95%以上		
	建設資材の有効活用	-	有	有		

\* 水道使用量・プロパン使用量に付いては少量のため監視項目とする。

\* 電気事業者別排出係数は、中部電力ミライズ(株) 0.379 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 鈴与商事(株) 0.523 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用します。

## 5. 環境経営計画（6 / 7 ~ 7 / 6）

☆ 主要課題 環境配慮工事建設資材の有効活用



### ◆ 再生資源の分別回収（リサイクルの促進）

【担当－総務・営業・建築・土木各部長】

- ◇ 電気使用量・・・管理系部門は冷暖房機器の温度設定・待機電力等の監視により削減を図り、サーキュレーター等により室内温度上昇を抑える。  
夏の気温上昇等、熱中症対策で抑えにも限界が生じている倉庫で使用している水銀灯についてはLED化を随時進めていく方針。  
なお、工務系は作業環境に大きく左右されるため、最大限の節約と現場毎の心掛けを徹底するよう依頼した。

【担当－総務・営業・建築・土木各部長】

- ◇ 燃料使用量・・・管理系は比較的安定していたが、社員増員による車両の増加で使用量も上がってしまう。工務系も、工事量・工事内容等により大きく左右される為、消費量の多い工務系にて削減を目指す事がポイントとなる。  
毎日の朝礼にて1日の行動計画を確認し、ムダ（重複移動）を省く。  
降車時のエンジンストップの意識付けの徹底。  
新規車両の購入時にはエコカー導入を検討する。  
現場使用の重機・機械については、最新のエコモデル型を極力使用する。  
（リース・レンタル含む）

【担当－総務・営業・建築・土木各部長】

- ◇ 管理系一般廃棄物（リサイクル分）  
管理系一般廃棄物（中間処理及び最終処分）・・・分別の徹底をし、総量削減に努める。

【担当－総務・営業各部長】

工務系産業廃棄物（リサイクル分）

- 工務系産業廃棄物（中間処理及び最終処分）・・・工事量・作業環境により大きく左右される為各現場の廃棄物量を正確に把握し、“資源の有効活用”や作業場での分別の徹底により、最終処分量の削減に努める。  
協力業者への意識付けにも注力する。

【担当－建築・土木各部長】

### ◆ 監視方法

1. 月一度、定期的に倉庫・資材置場の巡視。
2. 月一度、作業所の安全パトロールにおいて資材、産廃BOXの管理状況の確認。

【担当－総務・営業・建築・土木各部長】

### ◆ 周知方法

1. 倉庫、食堂等に重点目標を掲示。
2. 月一度の全体会議を利用し重点目標等の再確認をする。
3. ゴミの分別場所や倉庫内に分類区分票を作成・掲示した。
4. 朝礼や全体会議の時にも車輛使用時のアイドリングストップの指示をした。

## 6. 環境経営目標の実績



R7年度の実績は次の通りとなった。

環境経営目標項目	単位	目標値	実績	達成度	評価※	理由	備考	
共通	グリーン調達	-	配慮する	出来た	100%	○		
	環境配慮	-	〃	〃	100%	○		
	車両平均燃費	km/L	17.01	16.32	96%	△	HVが少ない 老朽化車両増加	
会社周辺の清掃	回	12	12	100%	○			
CO <sub>2</sub> の削減	kg-CO <sub>2</sub>	137,650	250,558	55%	△			
管理系	kg-CO <sub>2</sub>	31,204	40,692	77%	△	借上車両3台 HVが少ない		
工務系	kg-CO <sub>2</sub>	106,446	209,867	51%	△	天災発生等使用頻度増 各現場移動距離増		
管理系	電気の使用量 本社/小笠営業所	kWh	40,038	43,772	91%	△	残業等で使用頻度増加	
	車両燃料 (ガソリン)	L	5,304	7,694	69%	△	借上車両3台 HVが少ない	役員・総務・営業・不動産
	一般廃棄物の削減 (リサイクル分)	%	70%以上	80%	-	○		
	一般廃棄物の削減 (中間処理及び最終処分)	kg	581	501	116%	○		
	水使用量	m <sup>3</sup>	監視項目	339	-	○		
工務系	電気の使用量 工事作業所/倉庫	kWh	54,277	62,177	87%	△	大規模工事頻度増加	資材倉庫ほか 仮設事務所・作業用
	車両・機械 (ガソリン)	L	12,191	13,697	89%	△	遠方工事受注に伴う 給油頻度増加	監督員用車輛 作業車・機械(発電機等)
	重機・ダンプ・機械 (軽油)	L	20,230	59,712	34%	△	天災発生等使用頻度増 各現場移動距離増	発電機 作業車・重機・ダンプ等
	建設器具・暖房機器 (灯油)	L	140	188	74%	△	冬季、使用頻度増加	南倉庫作業所、 仮設事務所ストーブ
	産業廃棄物の削減 (再資源化率)	%	95%以上	94.2%	-	△	再資源化可能廃棄物の 取扱い少ない現場増加	負荷チェック5表参照
	建設資材の有効活用	-	監視項目	有	-			注1参照

※ 評価： ○・・・達成 △・・・一部未達成だが理由が明確である ×・・・未達成(改善対策が必要)

注1・・・社員全般に不要在庫の再利用の意識が高まり、実績も残すことが出来た。

(定期的な倉庫・資材置場の在庫チェックと、整理・整頓の徹底)

\* 購買電力は中部電力(株)及び鈴与商事(株)の電気を利用した。(P7参照)

# 1. 環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

1) 目標を達成するための取組(R7年度実績)

(1) 二酸化炭素排出量の削減活動 (省エネ活動)

○印 実施

① 電気使用量の削減	担 当	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
OA機器類の待機電力の削減(夜間の電源OFF)	総務・営業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
冷暖房温度の徹底管理(冷房26度/暖房23度)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
昼休みの消灯	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
不要電源のOFF徹底	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 自動車燃料(ガソリン)の削減													
アイドリングストップの推進	建築・土木	○				○		○					
エコドライブの推進(急発進、急加速、急ブレーキの抑制)	〃	○				○		○					
冷暖房使用の抑制	〃	○				○		○					
不要荷物の積み込み/過積載の禁止	〃	○				○		○					
公共交通機関使用の実施	総務・営業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自主点検の実施	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 重機・ダンプ・建設機械燃料(軽油)の削減													
作業休止時のエンジン停止	建築・土木	○				○							
アイドリングストップの徹底	〃	○				○							

(2) 廃棄物の発生抑制と分別の実施

○印 実施

① 管理系一般廃棄物(最終処分以外)の削減	担 当	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
事務所ゴミの分別の実施	総務・営業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
使用済み用紙の裏利用の実施	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
OA機器に関する紙不使用の推進	〃	○						○					
ミスコピーの抑制・推進	〃	○						○					
古新聞・古雑誌の回収(再生利用)の実施	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
② 工務系産業廃棄物(最終処分)の削減													
社内での再利用の推進	建築・土木	○						○					
工事現場での有効活用の工夫・推進	〃	○						○					
リサイクル可能廃棄物の分別排出	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 環境配慮工事建設資材の有効活用													
情報の紹介	総務・営業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
資材の有効活用/リサイクル	建築・土木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(グリーン購入・環境配慮事業)	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 2) 環境経営の取組結果の評価

( 令和 7年 8月 30日 )

### ◆ 電気使用量

#### 【管理系】

温暖化対策としてサーキュレーターの設定・空調機の清掃・温度設定の徹底と努めてきましたが、現状、削減値は限界に近く、LED照明等の導入については、水俣条約による生産禁止もあり、順次進めていくこととする。  
尚、帰宅時の待機電源オフはしっかりなされている。

#### 【工務系】

現場事務所・倉庫等の未使用時の電源 OFF の指導が良くなされていた。  
また、省電力の機器を多く使用するようになった。しかし、大規模の現場では、省電力の機器を多く使用しても使用量の減少には繋がらなかった。

### ◆ 燃料関係

#### 【管理系】

燃料価格の上昇により、エコ運転の意識が今まで以上に浸透したと思われる。  
全体的に車両の使用台数が増えている為、使用量の増加傾向にある。  
また、同規模他社の様に社有車のHV化が進んでいない為、今後の課題としたい。

#### 【工務系】

工事量は前年度並みに確保出来た為、消費量も多いままとなった。  
工事自体（建築・土木工事）も多かったが、前年同様、災害対応現場が多く、土砂の運搬・発電機の使用も非常に多かった為、消費量が高い水準のままとなり、また、掛持ちする現場担当者の現場間の移動距離が長かったのも原因にある。

### ◆ 一般・産業廃棄物

#### 【管理系】

最終処分については、分別・整理整頓がしっかり出来た事に加え、再利用等一人ひとりのリサイクル意識の向上もあり、一般廃棄物については目標値を下回る事は出来たが、前年と同水準の排出量に留まった。

#### 【工務系】

引き続き分別の徹底指導をし、最終処分の総量の削減に努めたい。

### ◆ 環境配慮工事管理資材の有効活用

#### ・環境配慮

ICTを活用した施工の推進、建設機械の燃料使用量の削減、騒音や振動・粉塵の発生の抑制など

#### ・リサイクルの推進

各部門の代表による倉庫・資材置場の巡視（数ヶ月に1度）により保管場所の整備をすすめ、再利用品と廃棄物処理材を効率よく処分することが出来た。

#### ・苦情等

チリ・騒音・振動・悪臭等への注意、また、事前の近隣住民への工事説明等が徹底できたため苦情はなかった。

#### ・グリーン調達

バリケードの修理・鉄ピン再利用・廃材の有効利用・看板の再利用

3) 目標を達成するための取組(次年度計画)

(1) 二酸化炭素排出量の削減活動 (省エネ活動)

●印 予定

① 電気使用量の削減	担 当	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
OA機器類の待機電力の削減(夜間の電源OFF)	総務・営業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
冷暖房温度の徹底管理(冷房26度/暖房23度)	〃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
昼休みの消灯	〃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
不要電源のOFF徹底	〃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
② 自動車燃料(ガソリン)の削減													
アイドリングストップの徹底	建築・土木	●				●		●					
エコドライブの推進(急発進、急加速、急ブレーキの抑制)	〃	●				●		●					
冷暖房使用の抑制	〃	●				●		●					
不要荷物の積み込み/過積載の禁止	〃	●				●		●					
公共交通機関使用の実施	総務・営業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
自主点検の実施	〃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
③ 重機・ダンプ・建設機械燃料(軽油)の削減													
作業休止時のエンジン停止	建築・土木	●				●							
アイドリングストップの徹底	〃	●				●							

(2) 廃棄物の発生抑制と分別の実施

●印 予定

① 管理系一般廃棄物(最終処分以外)の削減	担 当	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
事務所ゴミの分別の実施	総務・営業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
使用済み用紙の裏利用の実施	〃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
OA機器に関する紙不利用の推進	〃	●						●					
ミスコピーの抑制・推進	〃	●						●					
古新聞・古雑誌の回収(再生利用)の実施	〃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
② 工務系産業廃棄物(最終処分)の削減													
社内での再利用の推進	建築・土木	●						●					
工事現場での有効活用の工夫・推進	〃	●						●					
リサイクル可能廃棄物の分別排出	〃	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
③ 環境配慮工事建設資材の有効活用													
情報の紹介	総務・営業	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
資材の有効活用/リサイクル	建築・土木	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
(グリーン購入・環境配慮事業)	総務	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

遵守確認日： 令和 7年8月30日  
 遵守確認者： 森下 謙三

### 1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守を確認した結果、違反はありませんでした。

法規制等の名称		適用内容 (電子マニフェスト)	遵守状況	適用内容 (紙マニフェスト)	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	マニフェストの交付・登録	廃棄物を収集運搬業者、又は処分業者に引渡した日から3日以内にマニフェスト情報を情報処理センターに登録 ※3日以内とは、廃棄物を引渡した日を含まない	遵守	廃棄物を収集運搬業者、または処分業者に引渡しと同時にマニフェストを交付	遵守
	処理終了確認	情報処理センターからの運搬終了報告、処分終了報告、最終処分終了報告の通知 (電子メール等)により確認	遵守	1.運搬終了報告：B2票とA票を照合して確認 2.処分終了報告：D票とA票を照合して確認 3.最終処分終了報告：E票とA票を照合して確認	遵守
	マニフェストの保存	マニフェストの保存が不要 (情報処理センターが保存、5年分は常時確認可能)	遵守	1.交付したA票を5年間保存 2.収集運搬業者及び処理業者より送付されたB2票D票E票を5年間保存	遵守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告	情報処理センターが都道府県・政令市に報告するため、報告が不要	遵守	都道府県・政令市に自ら報告	遵守
建設リサイクル法		分別解体と再資源化等の実績・報告・記録作成・対象工事の届出			適正
建設副産物適正処理推進要綱		対象建設工事の計画書・報告書の作成、報告			適正
資源の有効な利用の促進に関する法律		指定副産物等の利用促進措置			適正
騒音規制法		騒音規制基準の遵守・対象特定建設作業の届出			遵守
振動規制法		振動規制基準の遵守・対象特定建設作業の届出			遵守
その他静岡県条例・袋井市条例		特定建設作業等の届出・特定施設等の届出			遵守
静岡県産業廃棄物条例		1) 産業廃棄物管理責任者の設置 (森下)			適正
		2) 産業廃棄物処理の委託先の現地確認とその記録の保存 (年1回以上実地確認、記録5年間保存)			適正
		3) 多量排出事業者 (静岡県) 責務			適正
フロン排出抑制法		第一種特定製品のエアコンを四半期に1回点検			遵守
浄化槽法		適正な維持管理 (年1回の法定点検・清掃・各種届出等)			遵守
家電リサイクル法		廃棄時には、リサイクル費用の支払いと収集・運搬業者への引き渡し			遵守

### 2. 訴訟等

現在まで、いずれの法規においても過去の3年間に関係諸機関からの指導・指摘等はなく、訴訟等もありません。



## 9. 代表者による全体の評価と見直し結果

作成日：2025年8月25日

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項 目		確 認：（必要に応じて評価・コメント記載）	
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	CO <sub>2</sub> 排出量は未達、電気大幅増、軽油達成
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	別紙にて報告するようにします
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	別紙報告の通り
	8	その他（ ）	<input type="checkbox"/>	

2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	<p>現在のペースで温室効果ガスの排出が続けば、21世紀中に産業革命前と比較して1.5℃や2℃を超える気温上昇は避けられないとされ、21世紀末までに世界の平均気温が最大で4.8℃から5.7℃上昇する可能性も示唆されている中で、節電や節水等は、快適性や健康面への影響を考慮すると難しい課題ではありますが、将来的に極端な高温や大雨が大幅に増加することを鑑みれば、今後も取り組んでいくことが重要だと考えております。</p> <p style="text-align: center;">2025年8月31日</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 塚本 法樹</p>			
	見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等	
	1	環境経営方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	2	環境経営目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	3	環境経営計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	未達成となった項目の原因を明確にし、新たな計画の設定をすること
	4	実施体制	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	5	その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	6	その他（外部への対応）	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

## 10. その他(社会貢献活動等取組)



### ① 社会貢献活動記録

#### ◆ 献血活動

令和 6年 9月 13日

参加人員 4名

令和 7年 5月 23日

参加人員 7名

#### ◆ 古切手・エコキャップ

継続し行っております

#### ◆ 会社周辺の美化活動

毎月 第2木曜日(雨天順延)

#### ◆ ふくろい遠州花火大会 会場及び清掃

令和 6年 7月 27日

参加人員 27名

#### ◆ 2024.4.14 - 2025.4.13

(kWh)

二酸化炭素排出削減量

自社所有	発電量	消費量	年間
太陽光発電	14,799.0	0.6	14,798.4

\*自社所有発電は、売電しています。

年間発電量は、発電量から機器を動かす為の消費電力量を引いた、合計の発電量を意味しています。

13,718-0.6kWh=13,717.4kWh 13,717.4kWh×0.0005415 t-CO2/kWh=7.4279 t-CO2



2024.07.27 ふくろい遠州の花火



2024.12.12 会社周辺の美化活動



2024.09.13 献血活動



2025.04.08 消防点検

## 別紙. 緊急時の対応及び準備

### 1. 地震

対応・・・総務

- 準備 ① 避難所の確認  
手順 ① 従業員の安否確認  
② 関係先への連絡  
③ 復旧作業の開始



### 2. 火災

対応・・・総務

- 準備 ① 法定点検の順守  
・消火器の点検と設置場所の明示  
・火災報知器の点検  
・通路の確保  
・違法可燃物等の管理  
② 消火訓練  
手順 ① 来客者・従業員の避難指示  
② 消防署へ連絡  
③ ・初期の場合は消火器等により消火・延焼を防ぐ  
・初期消火が難しい場合は、消防車到着までの間  
必要により交通の整理を図り第三者への災害を防ぐ

### 3. 土埃・公道への持出

対応・・・工務

本社敷地内の土を仮置きすることにより、強風時・ダンプの出入りにおいて近隣の住宅に『土埃』が飛ぶ恐れがある場合は、速やかに散水により防止。また、搬出時にはタイヤに付着した土により公道を汚す恐れがある場合、備え付けのジェットウォッシャーにより清掃後搬出する。

### 4. 水害(調整池の対応範囲を想定)

対応・・・総務

調整池、それに繋がる排水路等に流れを妨げるゴミ等が無いか定期的に監視する。(毎月の地域ボランティア時に確認)

### 5. 緊急時の訓練結果

- ・ 消火器の期限の確認と更新 7 / 4
- ・ 誘導灯の設備の確認と修理 7 / 4
- ・ 浄化槽の年次点検 7 / 2
- ・ 浄化槽の定期点検 6 / 5 ・ 6 / 8 ・ 6 / 11 ・ 7 / 2
- ・ 災害時用「安否確認」定期訓練 毎月不定期に実施
- ※ 「安否確認」・・・LINE による災害時等安否確認
- ・ 浄化槽への対応 大雨等の被害へ土嚢積みにて対応、手順問題なし
- ・ 消火訓練 (R 7 年 6 月 1 7 日) 社員全員で実施、手順問題なし

緊急事態記録  
(発生・訓練・テスト)

報告	承認	確認	作成
		R7.06.17 森下	R7.06.17 森下

区分	緊急事態発生 <b>緊急事態対応訓練</b> 手順テスト (該当項目を○で囲む)
日時	令和 7 年 6 月 1 7 日 
緊急事態発生 訓練又はテスト	<p>場所： 全 社</p> <p>内容： 大規模自然災害の発生を想定し、緊急時の連絡網としてLINEアプリを利用した一斉送信の受信状況のテストを行い、災害時の情報共有の連携を確認した。</p> <p>訓練・テストの場合参加者： 全社員</p>
担当部署責任者	本社 総務部 森下
問題点 改善点 再発防止策 水平展開 水平展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ネット環境に接続されていない人がいた</li> <li>◎ グループLINEで共有化された情報受取であり、誰が受け取ったかの特定が出来ない</li> <li>◎ 安否の確認は返信してもらわないと判断できない</li> </ul> <p><b>検証結果</b>：対応策に問題は無かったが、ネット環境接続への指導をした</p>
手順書変更	<p>手順書の変更の必要性： 有 <b>無</b> (該当項目を○で囲む)</p> <p>手順書名：</p> <p>主な変更内容：</p>
備考	

## 附属. 新環境経営目標

令和7年度実績を基準に中期目標を設定した。

環境経営目標項目	単位	基準値	目標値			
		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		[R6.07.01-R7.06.30]	[R7.07.01-R08.06.30]	[R8.07.01-R9.06.30]	[R9.07.01-R10.06.30]	
共通	グリーン調達 環境配慮	-	-	グリーン調達に配慮する 環境に配慮した工事に努める		
	車両平均燃費	km/L	16.32	燃料の向上に努める		
	会社周辺の清掃	回	12	12		
CO <sub>2</sub> 削減(全体)	kg-CO <sub>2</sub>	250,558	▲2%	▲3%	▲4%	
	管理系	kg-CO <sub>2</sub>	40,692	▲2%	▲3%	▲4%
	工務系	kg-CO <sub>2</sub>	209,867	▲2%	▲3%	▲4%
管理系	電気の使用量 本社/小笠営業所	kWh	43,772	▲2%	▲3%	▲4%
	車両燃料 (ガソリン)	L	7,694	▲2%	▲3%	▲4%
	一般廃棄物の削減 (リサイクル分)	%	80%	70%以上		
	一般廃棄物の削減 (中間処理及び最終処分)	kg	501	▲2%	▲3%	▲4%
工務系	電気の使用量 工事作業所/倉庫	kWh	62,177	▲2%	▲3%	▲4%
	車両・機械 (ガソリン)	L	13,697	▲2%	▲3%	▲4%
	重機・ダンプ・機械 (軽油)	L	59,712	▲2%	▲3%	▲4%
	建設器具・暖房機器 (灯油)	L	188	▲2%	▲3%	▲4%
	産業廃棄物の削減 (再資源化率)	%	94.2%	94%以上		
	建設資材の有効活用	-	有	有		

\* 水道使用量・プロパン使用量に付いては少量のため監視項目とする。

\* 電気事業者別排出係数は、中部電力ミライズ(株) 0.379 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 鈴与商事(株) 0.523 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用します。